



2024年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2024年2月9日

上場会社名 株式会社メディネット 上場取引所 東
コード番号 2370 URL <https://www.medinet-inc.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 久布白 兼直
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 落合 雅三 TEL 03-6631-1201
四半期報告書提出予定日 2024年2月13日 配当支払開始予定日 ー
四半期決算補足説明資料作成の有無：無
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年9月期第1四半期の業績 (2023年10月1日～2023年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年9月期第1四半期	248	34.1	△293	ー	△291	ー	△292	ー
2023年9月期第1四半期	185	7.1	△325	ー	△324	ー	△325	ー

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年9月期第1四半期	△1.20	ー
2023年9月期第1四半期	△1.54	ー

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年9月期第1四半期	6,348	5,800	91.3
2023年9月期	5,634	5,043	89.2

(参考) 自己資本 2024年9月期第1四半期 5,793百万円 2023年9月期 5,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年9月期	ー	0.00	ー	0.00	0.00
2024年9月期	ー	ー	ー	ー	ー
2024年9月期 (予想)	ー	0.00	ー	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年9月期の業績予想 (2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	850	28.5	△1,488	ー	△1,475	ー	△1,479	ー	△6.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年9月期1Q	253,510,757株	2023年9月期	232,160,757株
② 期末自己株式数	2024年9月期1Q	64株	2023年9月期	64株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年9月期1Q	243,681,345株	2023年9月期1Q	211,730,393株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社において判断したものであります。予想には様々な不確定要素が内在しており、実際の業績はこれらの予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第1四半期累計期間	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報)	6
(収益認識関係)	7
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(2023年10月1日から2023年12月31日まで)においては、新型コロナウイルス感染症が収束し、経済活動の正常化が一段と進む中、景気は穏やかな回復傾向となっております。一方で、不安定な海外情勢、為替相場の変動や消費者物価の上昇等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

こうした状況の中、当社は引き続き、「再生医療等の安全性の確保等に関する法律」と「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」による法的枠組みの下、新たなビジネス展開による事業拡大に向けた取り組みを進めるとともに収益構造の改善に努めております。当社を取り巻く事業環境は依然として厳しさが続いておりますが、特定細胞加工物の受託拡大やCDMO事業の基盤強化に注力しております。

この結果、当第1四半期累計期間における当社の経営成績は以下のとおりとなりました。

(金額単位：百万円)

	売上高	営業損失(△)	経常損失(△)	四半期純損失(△)	1株当たり 四半期純損失 (△)
当第1四半期 累計期間	248	△293	△291	△292	△1.20円
前第1四半期 累計期間	185	△325	△324	△325	△1.54円
増減率(%)	34.1	—	—	—	—

当第1四半期累計期間においては、特定細胞加工物製造業やCDMO事業の売上が増加したこと等により、売上高は248百万円(前年同期比34.1%増)となりました。損益面につきましては、売上高の増加等により、売上総利益は76百万円(前年同期比65.2%増)、支払手数料の減少等による一般管理費の減少により販売費及び一般管理費は370百万円(前年同期比0.4%減)となり、営業損失は293百万円(前年同期は営業損失325百万円)となりました。また、加工中断収入2百万円(前年同期比8.5%増)、株式交付費4百万円(前年同期はなし)等の営業外損益等により、経常損失は291百万円(前年同期は経常損失324百万円)、四半期純損失は292百万円(前年同期は四半期純損失325百万円)となりました。

報告セグメント別の経営成績の概況は、以下のとおりであります。

(金額単位：百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期損益計算書 計上額(注)2	
	細胞加工業		再生医療等製品事業			セグメント 損失(△)	売上高
	売上高	セグメント 損失(△)	売上高	セグメント 損失(△)			
当第1四半期 累計期間	248	△31	0	△115	△147	248	△293
前第1四半期 累計期間	184	△57	0	△107	△161	185	△325

(注)1. セグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

① 細胞加工業

細胞加工業については、細胞加工業の3つのビジネス領域(「特定細胞加工物製造業」・「CDMO事業」・「バリューチェーン事業」)の拡大に向けて積極的な活動を展開しております。「特定細胞加工物製造業」では、免疫細胞加工受託件数の回復及び一部取引先との価格改定、製造受託に向けた技術移転一時金等により、「CDMO事業」では受託料の価格改定等により、売上高が増加しております。

その結果、当第1四半期累計期間における売上高は248百万円(前年同期比34.2%増)、セグメント損失は31百万円(前年同期はセグメント損失57百万円)となりました。

② 再生医療等製品事業

再生医療等製品事業については、再生医療等製品の早期の収益化を目指すとともに、国内外で行われている再生医療等製品の開発動向にも注目し、それらのパイプライン取得、拡充を視野に入れた活動を行っております。当第1四半期累計期間においては、売上高は0百万円(前年同期比64.4%減)、研究開発費の増加等によりセグメント損失は115百万円(前年同期はセグメント損失107百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明
(財政状態)

	前事業年度末	当第1四半期 会計期間末	増減
資産合計 (百万円)	5,634	6,348	714
負債合計 (百万円)	590	548	△41
純資産合計 (百万円)	5,043	5,800	756
自己資本比率 (%)	89.2	91.3	2.1
1株当たり純資産 (円)	21.64	22.85	1.21

資産合計は、前事業年度末に比べて714百万円増加し、6,348百万円となりました。主な増加は、現金及び預金636百万円、投資有価証券84百万円です。

負債合計は、前事業年度末に比べて41百万円減少し、548百万円となりました。主な減少は、賞与引当金31百万円です。

純資産合計は、前事業年度末に比べて756百万円増加し、5,800百万円となりました。主な要因は、新株予約権の行使による資本金501百万円及び資本剰余金501百万円の増加、その他有価証券評価差額金58百万円の増加、並びに四半期純損失計上に伴う利益剰余金292百万円の減少等によるものです。

以上の結果、自己資本比率は、前事業年度末の89.2%から91.3%となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年9月期の業績予想につきましては、2023年11月10日に公表しました業績予想から変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年9月30日)	当第1四半期会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,396,333	5,033,143
売掛金	217,624	225,208
仕掛品	33,741	14,476
原材料及び貯蔵品	33,740	34,430
その他	88,217	86,257
貸倒引当金	△828	—
流動資産合計	4,768,828	5,393,515
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	404,826	388,772
その他(純額)	73,575	94,788
有形固定資産合計	478,402	483,560
無形固定資産		
	113,248	113,398
投資その他の資産		
投資有価証券	211,666	296,203
長期貸付金	531,250	530,000
その他	90,604	87,378
貸倒引当金	△559,855	△555,378
投資その他の資産合計	273,666	358,202
固定資産合計	865,316	955,161
資産合計	5,634,145	6,348,677
負債の部		
流動負債		
買掛金	55,217	50,214
未払法人税等	18,323	10,657
賞与引当金	61,723	30,694
その他	211,574	181,328
流動負債合計	346,838	272,895
固定負債		
資産除去債務	158,146	158,646
株式報酬引当金	19,133	25,763
その他	66,085	91,321
固定負債合計	243,365	275,731
負債合計	590,203	548,626
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,736,788	6,238,555
資本剰余金	577,808	1,079,574
利益剰余金	△1,437,950	△1,730,588
自己株式	△4	△4
株主資本合計	4,876,641	5,587,537
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	147,029	205,692
評価・換算差額等合計	147,029	205,692
新株予約権	20,270	6,819
純資産合計	5,043,941	5,800,050
負債純資産合計	5,634,145	6,348,677

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2022年10月1日 至 2022年12月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)
売上高	185,153	248,236
売上原価	138,904	171,842
売上総利益	46,248	76,393
販売費及び一般管理費	371,747	370,302
営業損失(△)	△325,498	△293,909
営業外収益		
受取利息	1,719	1,657
貸倒引当金戻入額	1,550	1,550
投資事業組合運用益	—	6
加工中断収入	2,275	2,468
その他	230	597
営業外収益合計	5,775	6,280
営業外費用		
支払利息	17	9
為替差損	95	0
投資事業組合運用損	4,645	—
株式交付費	—	4,342
営業外費用合計	4,758	4,352
経常損失(△)	△324,481	△291,981
税引前四半期純損失(△)	△324,481	△291,981
法人税、住民税及び事業税	1,052	1,052
法人税等調整額	△13	△397
法人税等合計	1,039	655
四半期純損失(△)	△325,521	△292,637

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社が2023年3月6日に発行した第19回新株予約権について、新株予約権の権利行使が行われました。この結果、資本金及び資本剰余金がそれぞれ501,766千円増加しました。

以上の結果、当第1四半期会計期間末において資本金が6,238,555千円、資本剰余金が1,079,574千円となっております。

(セグメント情報)

I 前第1四半期累計期間(自2022年10月1日至2022年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	184,994	158	185,153	—	185,153
外部顧客への売上高	184,994	158	185,153	—	185,153
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	184,994	158	185,153	—	185,153
セグメント損失(△)	△57,415	△107,019	△164,435	△161,063	△325,498

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△161,063千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

Ⅱ 当第1四半期累計期間(自 2023年10月1日 至 2023年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	細胞加工業	再生医療等 製品事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	248,179	56	248,236	—	248,236
外部顧客への売上高	248,179	56	248,236	—	248,236
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	248,179	56	248,236	—	248,236
セグメント損失(△)	△31,623	△115,130	△146,753	△147,155	△293,909

(注) 1. セグメント損失(△)の調整額△147,155千円は、全社費用であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント損失(△)は、四半期損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「(3) 四半期財務諸表に関する注記事項(セグメント情報)」に記載のとおりであります。

3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等

当社は、がん免疫療法市場の環境変化に伴う細胞加工業の売上急減に加え、再生医療等製品事業分野における自社製品の開発進捗に伴う支出が累増しているため、継続的に営業損失及びマイナスの営業キャッシュ・フローが発生しており、継続企業の前提に疑義を生じさせるリスクが存在しております。

しかしながら、当社は、2018年4月に実行した事業構造改革を通じ、細胞加工業セグメントにおいては、細胞加工施設の統廃合等を通じて製造体制の適正化を図り、同セグメントのセグメント利益の早期黒字回復を目指しております。また、再生医療等製品事業セグメントにおいては、早期の製造販売承認の取得に向けて有望でかつ可能性の高いシーズを優先して開発を進めるとともに、再生医療等製品の開発費等については資金状況を勘案の上、機動的に資金調達を実施してまいります。現状では、構造改革の実行を通じた細胞加工業セグメントにおける製造体制の適正化等による資金の確保、さらに2019年6月の第14回及び第15回、2020年7月の第16回、2020年9月の第17回、2021年9月の第18回並びに2023年3月の第19回新株予約権の発行による再生医療等製品開発費等の資金調達等により、安定的なキャッシュポジションを維持しており、当面の資金繰りに懸念はないものと判断しております。これらに加えて、当社における当第1四半期会計期間末の資金残高の状況を総合的に検討した結果、事業活動の継続性に疑念はなく、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。